

つなぐ PLUS

01 [特集]
15年ぶりに新学部誕生!
建築・デザイン学部

05 学びが変わった!
大阪電気通信大学高校

07 大学NEWS & TOPICS
08 FOCUS ON! LAB
09 高校NEWS & TOPICS
11 CLUB & CIRCLE

13 2023年度 人事
14 ご支援への御礼
研究室紹介サイトWHO'S LAB
オープンのお知らせ
15 「ヒト・コト」コラム

ARCHITECTURE & DESIGN

建築・デザイン学部
2024.4 START



つなぐ知 かなえる技

学校法人 大阪電気通信大学

Osaka Electro-Communication University

なぜこのタイミングで
「建築・デザイン学部」をつくったか

近年、DX化の重要性が高まっています。しかし、日本では業界によってDXの推進度の差が大きく、特に、建築業界のDX化は喫緊の課題とされています。設計段階ではCADが普及しているものの、プロジェクト全体を俯瞰して管理が行えるBIMを扱える人材は少なく、世界から遅れをとっているのが現状です。だからこそ、AIをはじめとした先進テクノロジーを駆使し、データサイエンスに基づいたコンセプト設計や、モノづくりを実現できる人材の育成が必要と考え、新学部を開設することになりました。

これからの時代に求められる
「建築・デザイン」とは

DX化が加速的に進む業界に対応し、インテリアから都市空間、仮想空間に至るまで、従来の建築の概念にとられない幅広い意味での「建築・デザイン」が必要になります。さらにその時の人々の考えや社会の流れに応じて建築物や空間に求めるものも変化します。ICTと建築の知識、そしてデザインが融合した「ユーザー視点を大切に設計」がいままで以上に求められます。

「建築・デザイン」に文系の創造力を

建築＝理系ではありません。今後ますますユーザー視点の設計スキルが重視されることから、住空間の設計であれば、暮らす人のライフスタイルや文化を理解する力、商空間であればマーケティングなどのビジネス全般にかかわる知識や、その土地の歴史や慣習などの知見が重要となります。つまり、文系の学問分野に関する知識や考え方を持つ人材にも、建築業界での活躍のチャンスが広がっています。

2024年4月START

建築・デザイン学部 建築・デザイン学科

建築専攻
空間デザイン専攻

(仮称・設置届出中)

※記載の内容は、届出中のものであり、変更される可能性があります。

クリエイティビティ×テクノロジー
未来に、キミのこたえを。

未来の社会には課題が山積みだ。

しかし、クリエイティビティとテクノロジーの力で
それらは解決できる。

先進テクノロジーを通じた学びで、
社会はもっと前進させられる。

ARCHITECTURE &
DESIGN
2024.4 START

建築・デザイン学部

建築・デザイン学科

社会には、見逃すことのできない問題や課題が山積みだ。しかし、その多くは、クリエイティビティとテクノロジーの力で解決できる。自由な発想力や、表現力、そして先進のデジタル技術を身につけ、建築や空間デザインを通して、未来を築いていけるクリエイターをめざそう。



時代の変化に対応し「多様な人材」を育成

2018年に工学部に設置した建築学科では、デジタル化が進む建築業界に対応した実践的なICT教育と、建築士を中心とした資格取得に直結する実学教育に力を注いできました。新学部でめざすのは「多様な人材」の育成。現在進行形で変化し続ける建築業界に伝えるべく、学びを進化・発展させていきます。

建築専攻

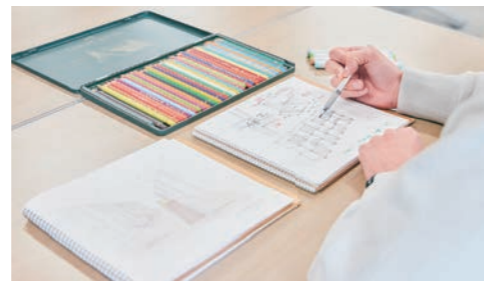


先進のデジタル技術で業界をリードする

次代の一級・二級建築士をめざす

従来の建築の知識や製図・模型づくりなどの技術に加え、大阪電気通信大学の強みであるICT教育により、先進のデジタル技術を駆使してこれからの建築業界をリードしていける人材の育成をめざします。3DCADを用いた製図技術はもちろん、建設関連企業で導入が進むBIMやデジタルツインなどの先進技術の知識や活用スキルを養成。また、所定の科目・単位を修得し、卒業することで、一級・二級建築士の受験資格を得ることができます。授業のなかで資格試験に必要な構造計算の知識や製図の技能がしっかりと身につくカリキュラムを用意するなど、万全の体制を整え、合格をサポートします。

空間デザイン専攻



豊かな表現力とデジタル技術を駆使しインテリアから仮想空間までデザイン

都市・建築・インテリアなど、人間を取り巻くあらゆる空間のデザインを学びます。建築の知識や製図の技能を身につけるとともに、デッサンや3DCGなどの表現力とデジタル知識も養成。現実空間だけでなく、情報技術(VR、AR)によって構築された仮想空間までデザインできる、幅広い知識と技術を備えたクリエイターや技術者を育てます。住空間やオフィスのデザイン、店舗ディスプレイ、3D都市データを活用したまちづくり、メタバース内の建築物の設計、ゲームやアニメ作品の舞台となる非日常的空間のデザインなど、活躍の場は多彩。一級・二級建築士受験資格の取得も可能なカリキュラムを用意しています。

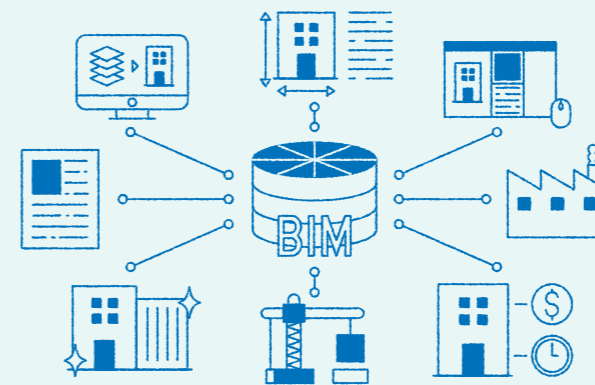
INFORMATION

(建築・空間デザインの未来はどうか?)

WHAT ABOUT THE FUTURE OF ARCHITECTURE & SPACE DESIGN ?

ICT化が進み、転換期を迎えつつある建築業界。
システムを活用した業務の効率化・生産性向上といった働き方の変革や、ユーザーの理想の暮らしをデジタル上で表現し、形にするという空間づくりによって、かつてない未来が広がっています。

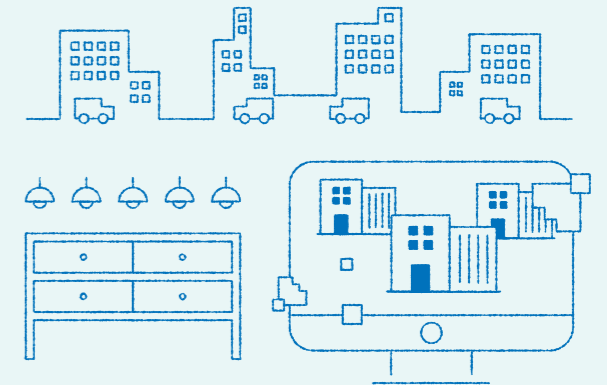
進化するICT × 建築



先進技術で、建築の仕事は、より安全で効率的なものへ

先進のICTが、建築現場の仕事をより「安全」で「効率的」なものに変えようとしています。デジタル空間に建物を再現し建築に関するあらゆる情報を集約できるBIMをはじめ、現実の世界を仮想空間上に再現しシミュレーションを可能にするデジタルツイン技術など、いままでの常識を飛び越えた技術が、仕事のあり方さえも変えていきます。

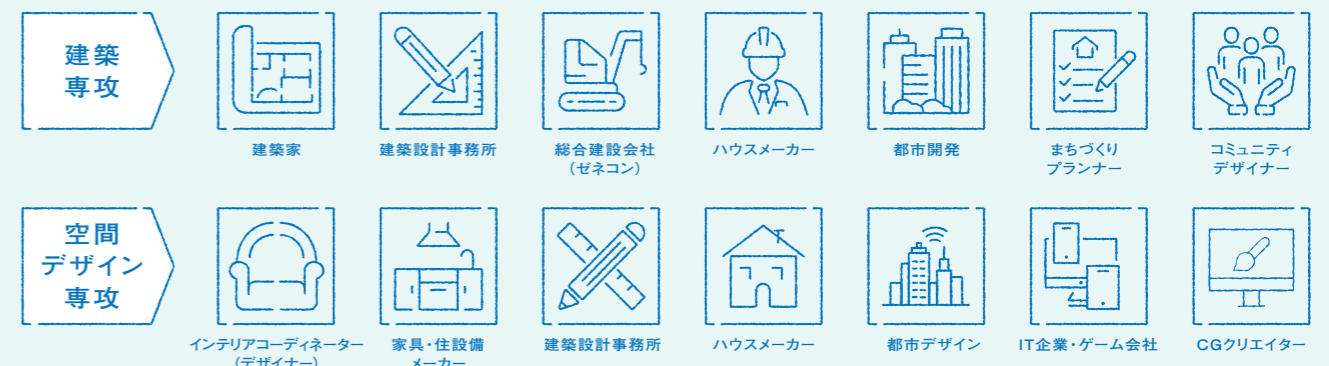
デザイン × 建築



ICTを活用し、現実から仮想まで、あらゆる空間をデザインする

インテリアから都市計画、仮想空間に至るまで、空間づくりの領域は広がっています。現実世界の物理的制約から解放されたバーチャルの建築物や、未来的都市空間を創造し、新しい体験や価値をユーザーに提供できる、新時代の空間デザイナーがこれまで以上に求められるでしょう。

想定される進路



SPACE DESIGN

2つのキーワードで導き出す、建築・空間デザインの未来予想図

ARCHITECTURE

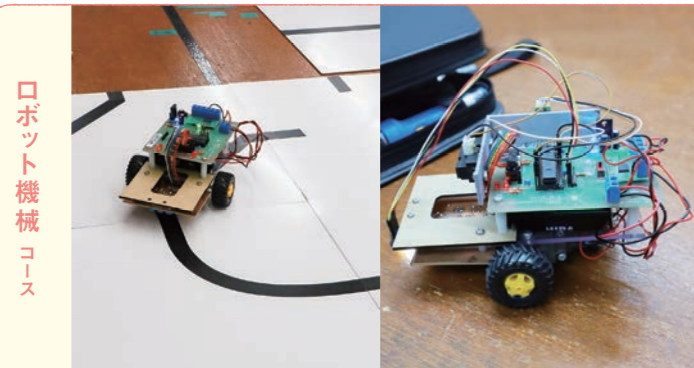


OECUHS NEW COURSE INTRODUCTION

学びが変われば、未来も変わる

大阪電気通信大学高等学校工学科では、生徒の可能性を見つけ個性を伸ばすためにコースをリニューアルしました。多彩なコースから、いくつもの新しい学びが広がっています。

それぞれの学びはどう新しくなった? COURSE UPDATE



ロボット機械コース

ロボット製作を通して、工学系の知識を深めていく

メカトロニクス・ロボット技術を軸に、電気回路・電子制御に関する知識と技術を育むコースです。「ロボティクス基礎」の授業では、生徒一人ひとりが、超音波やジャイロ、加速度といったセンサ技術を用いて、ロボットの製作・制御を行います。さらに、大阪電気通信大学と連携した授業を行います。多くの生徒が、モノづくりや研究活動を通して、工学の専門知識を身につけています。



デジタルゲーム開発コース

ゲームづくりの楽しさも、難しさも、手を動かしながら学んでいける

大阪電気通信大学のデジタルゲーム学科をはじめとする情報通信系の理工系大学への進学をめざすコースです。「工業情報数理」「プログラミング技術」「応用プログラミング技術」の授業を通して、プログラミングの基礎を学習することができます。「ゲームプログラミング基礎」では、シューティングゲームやアクションゲームの具体的な制作方法についても学んでいきます。生徒一人ひとりが、おもしろいゲームをつくる技術を磨いています。



IoT情報通信コース

情報化社会で必要になるテクノロジーを活用する力を育む

IoT(Internet of Things)とは、身の回りのあらゆるモノがインターネットにつながる仕組みのこと。「Society5.0」と言われる社会で、これらの技術を使いこなす人材の重要性が高まっています。ワンボードマイコンを用いた実習を通して、制御やセンシング、インターネット通信、画像処理などを学びます。さらに、高大連携やIoT活用技術に関する専門的な学びを通して、ハードウェアやプログラム、ネットワークに関する知識を深めていきます。

Class Work

3年間の集大成を発表

授業名 課題研究 対象 工学科 3年生



研究成果を、みんなの前でプレゼン!

工学科の3年生が課題研究の授業で「課題研究発表会」を開催しました。この授業の目的は、様々な研究テーマから、発見する楽しさを得ること。生徒たちは「ESP32マイコンで始めるIoTデバイスの開発」や「Unity®ソフトウェアを用いたアプリ製作」など、各研究を推進。最終的に気づきを発表することで、学びを深化させています。

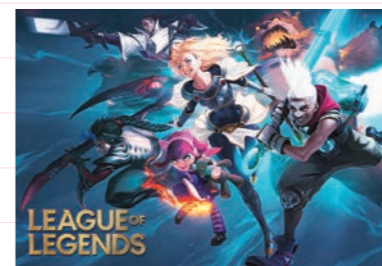
授業名 IoT活用技術 対象 工学科 IoT情報通信コース 3年生



つくるだけでなく、伝える力も育む

IoT情報通信コースの3年生が「IoT活用技術成果発表会」を開催しました。生徒たちは班に分かれて「ロッカーの盗難防止」や「NFCを用いた送迎バス乗員管理システム」などのテーマを各自で設定し開発に挑戦。同コースの2年生や大学教授に向けてプレゼンテーションを行いました。この授業を通して、モノをつくる技術だけでなく伝える力も養っています。

2023年度からのTOPICS



工学科3年生対象の課題研究で、世界的なゲーム会社RIOT Gamesの「League of Legends」を授業内で使用

「League of Legends」は、2012年に世界で最もプレイヤーが多いPCゲームとされ、eスポーツではメジャーなタイトルです。課題研究では「League of Legends」を通じて生徒自身が、個人の技量を上げるための問題解決能力や、チームマネジメント力の向上をめざします。そのために生徒自身が練習方法を考案・実践・考察し、勝利に向けてレベルアップを図ります。eスポーツ部でもこのゲームで大会に出場しており、授業・クラブ間でも連携し、大会での成績向上に役立てます。

COLUMN OECU 高大連携 特集

高大連携がますます充実

現在、普通科2年生から選択可能になるメディア情報コースで、大阪電気通信大学 総合情報学部 ゲーム&メディア学科との高大連携授業を実施しています。さらに、2023年度からは、普通科「健康スポーツ」、

工学科「工学理数」「ロボット機械」「IoT情報通信」「医療電子」「デジタルゲーム開発」の各コースでも高大連携授業を充実させていきます。各コースの特徴的な学びと、大学でのより専門性の高い学びとのつながりを強固にし、最適な高大連携授業を実現することで、生徒たちの学びのイメージを広げていきます。



01 建築学科 卒業制作展2022 「yohaku ni...」を開催しました

工学部建築学科の卒業制作展2022「yohaku ni...」が1月31日(火)から2月3日(金)までの4日間、大阪市中央公会堂で開催されました。2018年に開設した建築学科の2期生は、本学の強みであるICTや、設計に関する技術・環境・情報・エネルギーなどの建築分野に関する知識を深めてきました。学生たちは「人と環境に配慮した建築・まちづくり」というコンセプトのもと、卒業設計や研究を実施。合計74点が展示されました。最終日前夜には講評会が行われ、ゲストとして他大学の教員や建築家が出席し、優秀作品4点を選出。選ばれた学生たちは、堂々とプレゼンテーションを行い、自身の作品に込めた思いを語ってくれました。



03 2022年度 学位授与式

3月18日(土)、2022年度学位授与式を四條畷キャンパスのコナミホールで行い、1,237人(学士:1,162人、修士:73人、博士:2人)の学生に学位記を授与しました。式典の最後にはサプライズとして、吉本興業株式会社所属のお笑い芸人、おいでやす小田さんから送られたお祝いメッセージが投影されました。おいでやす小田さんは本学に2年半在籍しており、当時の思い出を紹介し卒業生にエールを送られました。



02 硬式野球部のコーチに 元プロ野球選手の成本年秀氏が 就任しました

強化指定クラブである硬式野球部の新投手コーチとして、元プロ野球選手の成本年秀(なりもと としひで)氏が就任しました。成本氏は、千葉ロッテマリーンズや阪神タイガース、東京ヤクルトスワローズで投手として活躍し、引退後は東京ヤクルトスワローズの1軍投手コーチなどを務めてきました。



▲成本年秀氏(写真左から2番目)

04 2023年度 入学式

4月4日(火)、2023年度の大学・大学院入学式を四條畷キャンパス・コナミホールで行い、1,572人の新入生がキャンパスの門をくぐりました。式典会場では塩田邦成学長による告辞と大石利光理事長の祝辞が贈られました。新入生の皆さんが、夢の実現に向かっていろいろなことに挑戦し、充実した学生生活を送られることを願っています。



その他の新着情報は
こちらから



FOCUS ON! LAB

Vol.04



星野研究室

工学部 機械工学科
金型設計製作技術研究室



即戦力の人材を育むため、実務に即した研究開発を

星野研究室では、製品の設計や、それらを量産するための金型の設計・製作に関する研究開発を行っています。具体的には、3次元CAD設計や、3Dプリンタの活用に関する研究(金属・プラスチック)、最新の工作機器に活用されるデジタル製造技術などがあります。学生たちが即

戦力として社会で活躍できるように、実務に沿った研究開発を行っているのが、この研究室の特徴。さらに、学内だけでなく、地域の企業や他大学、公共機関との協力体制を構築する活動にも挑戦中です。研究開発のあり方そのものを変えながら、モノづくりの可能性を広げています。



星野 実 特任教授 | HOSHINO Minoru

工学部 機械工学科 特任教授
博士(工学)
[専門分野]
金型の設計・製作、3次元CAD設計
[研究テーマ]
3DAモデル製品設計、次世代金型の研究開発

幅広い経験を通して、技術を磨いてほしい

学生たちが即戦力の人材として活躍できるように、資格試験講座を開催したり、コンテストへの参加を促したりしています。多くの学生たちは、学生金型グランプリや、3次元CAD試験などにチャレンジ中。モノづくりの技術だけではなく、挑戦することの大切さも伝えています。



大阪電気通信大学高等学校

大阪府下の私立高校ではじめて、リファビッシュPCを授業に導入!

2022年度工学科新生255人中、219人がリファビッシュPCを授業で使用しています。リファビッシュとは、中古品などを修理・整備して新品同様の状態に仕上げを指す言葉です。リファビッシュPCを授業に導入したのは、大阪府下の私立高校ではじめての試み。機種を選択肢は狭まるものの、新規購入に比べておよそ1/3の価格で購入できる上に、PC製造時に発生する温室効果ガスや、資源導入などの環境負荷の大幅な軽減を実現します。学校としてSDGsに取り組むことで、生徒たちの環境意識の向上にもつながっています。



リファビッシュPC 2つのPOINT

POINT 01 CO₂削減でSDGsに貢献!

新品のPC製造時には、約300kgのCO₂が排出されます。リファビッシュPCの製造に排出されるCO₂は約20~40kgなので、約260~280kgのCO₂削減効果が期待できます。

※日本ITDA協会調べ



POINT 02 リーズナブルな価格で経済的負担を軽減!

新規購入の場合のおよそ1/3の価格で購入できるため、学生の経済的負担を軽減することができます。



NEWS & TOPICS

HIGH SCHOOL

01 メカトロニクス部 全国大会出場

メカトロニクス部の3年生2人、2年生1人からなるチームが、ロボカップジュニア関西ブロック大会のレスキューチャレンジメイズ部門で優勝し、全国大会である「ロボカップジュニア・ジャパンオープン2023名古屋」に出場しました。しかし、大会当日の競技直前にロボットが正常に動かなくなる問題に見舞われ、準備したすべてを發揮することができませんでした。それでも生徒たちは日々努力を重ね、ロボット製作に打ち込み、将来に活かせる貴重な経験を得ました。今後もメカトロニクス部は技術を磨き、挑戦を続けていきます。



02 卓球部 全国大会出場

全国高等学校選抜卓球大会男子シングルの部 大阪府予選会で、高等学校卓球部の金子侑生選手が見事優勝し、大阪府代表として全国選抜大会に出場しました。各都道府県の代表1人(愛知県は開催地枠で2人)の48人が出場し、3人リーグでリーグ戦を行ったあと、1位の選手によるトーナメントが行われます。残念ながらリーグ戦を勝ち抜かず、トーナメントに進出することはできませんでしたが、今後もさらなる高みをめざして精進したいと思います。引き続き温かい応援をよろしくお願い致します。



03 2022年度 卒業式

2月18日(土)、2022年度卒業式を大阪電気通信大学高等学校 体育館で行い、普通科・工学科合わせて412人が卒業しました。卒業生の皆さんご卒業おめでとうございます。本校で学んだことを活かし、今後さらにご活躍されることを期待しています。



04 2023年度 入学式

4月7日(金)、2023年度入学式を大阪電気通信大学高等学校 体育館で行い、普通科・工学科合わせて349人が入学しました。式後には、各クラスルームに移動し最初のホームルームが行われました。3年間、たくさんの思い出とともに様々な経験をし、成長していけることと思います。皆さんが充実した、素晴らしい高校生活を過ごされるよう願っています。



その他の新着情報は
こちらから



CLUB & CIRCLE



UNIVERSITY

バレーボール部



DATA | 部員 | 11人
| 活動日 | 週3回 火曜日・木曜日・土曜日

ICTを活用し、試合結果を分析 強みを伸ばして勝利にこだわる

2022年春季リーグ5部昇格、秋季リーグ4部昇格と、この1年で大飛躍を遂げているバレーボール部。その活躍の背景には、ICTを活用したデータ分析があります。主将の井上さんに話を聞くと「試合結果を分析し、チームの強みや弱点を可視化して、練習メニューに活かしています」と話してくれました。バレーボール部では2年前から本格的な技術力向上のため、実践を想定した練習メニューを大幅に増やしています。さらに、月に2、3回は他大学と練習試合を行いながら、技術を磨いています。「勝利することで、バレーボールの楽しさをチームみんなに感じてほしい」と井上さんが思いを語ってくれました。バレーボール部は、健康スポーツ科学科での学びを応用しながらレベルアップしている真っ最中。3部昇格をめざすこのチームから、これからも目が離せません。



主将 井上 甲斐
医療健康科学部 健康スポーツ科学科 3年

「一生懸命、楽しく」をモットーに、
全員がいきいきとプレーできるチームへ

バレーボール部は「一生懸命、楽しく」をモットーに、3部リーグ昇格を目標としています。主将として、みんながいきいきとプレーできる環境づくりを心掛けています。現在、部員募集中。バレーボールが好きの方、チームワークを大切に楽しくバレーボールがしたい方を歓迎します！



HIGH SCHOOL

柔道部



DATA | 部員 | 12人
| 活動日 | 週6日(月曜日休み) 平日:3時間程度 土日祝:5時間程度

礼に始まり礼に終わる 日々の活動を通して、心も身体も磨く！

部員数12人の柔道部は、自分の限界を超えるために日々の練習に取り組んでいます。2020年の「第43回全国高等学校柔道選手権大会大阪府予選会」では、個人戦で決勝まで勝ち進み、2021年の「第76回大阪府高等学校総合体育大会」では団体戦で準優勝を果たすなど、大躍進を遂げました。「心も身体も強くできるのが柔道の魅力。礼に始まり礼に終わるスポーツであるため、今後、社会人として活躍していく上で、必要不可欠な心構えを学ぶことができる」と、顧問の松本光晴先生が話してくれました。平日の朝練習では、ダンベルなどの器具を使わない筋力トレーニングである自重トレーニングを行い、放課後は試合に向けた実戦練習に励んでいます。そして休日は、他校との合同練習や練習試合、各大会への参加、合宿など、精力的に活動中。4月からは女子部員や女性指導員も加わります。今後の柔道部の活躍がとても楽しみです！



主将 岡崎 泰晴
普通科 健康スポーツコース 3年









チーム一丸となって
団体戦・個人戦ともに
近畿大会出場をめざす

柔道部は、初心者から経験者まで幅広い生徒が所属しており、近畿大会出場を目標に日々の練習に取り組んでいます。今年の6月に全国大会出場に向けた試合があるため、良い結果を残せるようにチーム一丸となって練習しているところです。現在、柔道部では部員を募集中。初心者の方でも大歓迎です。柔道を通して、一緒に楽しい学校生活を過ごしましょう。



VOLLEYBALL CLUB

新任教職員のご紹介

2022年9月16日付	2023年4月1日付	2022年10月1日付	2023年1月1日付
			
光石 暁彦 工学部 環境科学科 准教授	谷垣 健一 工学部 機械工学科 准教授	中村 大樹 入試部 入試課	富田 冴子 総務部 総務課
			
木村 佳記 医療健康科学部 理学療法学科 教授	石塚 文晴 メディアコミュニケーションセンター 教授	川本 侑季 四條畷事務部 四條畷学務課	

2023年4月1日付	2023年4月1日付			
				
岡本 彩葉 総務部 総務課	森田 圭一 学事部 研究支援室			
2023年4月1日付	2023年4月1日付			
				
神田 俊明 教諭 (工業)	杉中 天也 教諭 (数学)	和田 春 教諭 (英語)	清水 木ノ葉 常勤講師 (音楽)	水口 遥斗 常勤講師 (工業)

2023年度 主な役職者

理事・監事

理事長	大石 利光(元コナミスポーツ株式会社 代表取締役執行役員社長)		
理事	塩田 邦成(大学学長)	新川 拓也(副学長)	加藤 好文(京阪ホールディングス株式会社 代表取締役会長CEO)
	福島 淳行(高等学校校長)	北田 由博(大阪電気通信大学高等学校 同窓会会長、北田工業所代表)	観野 福太郎(NPOビジネス・サポート 理事長)
	千松 哲也(法人事務局長)	谷 嘉久(経営戦略室長、財務部長)	山口 重之(元京都工芸繊維大学 副学長、名誉教授)
	寺西 正光(大学事務局長)	都倉 信樹(元大阪電気通信大学 学長)	
	兼宗 進(副学長、工学部長)	大下 真二郎(一般社団法人 大阪電気通信大学 友電会 企画・運営部会会長)	
監事	木村 安壽(木村公認会計士事務所 所長)	松宮 徹(元新日本製鐵 フェロー)	

大学

学長	塩田 邦成	総合学生支援センター長	平沼 博将
副学長(教学、情報教育・情報化担当)	兼宗 進	総合学生支援センター副センター長	村木 有也
副学長(学部学科改革、高大連携、四條畷担当)	新川 拓也	実験センター長	溝井 浩
学長補佐	松浦 秀治	スポーツ強化センター長	金田 啓稔
工学部長	兼宗 進	就職部長	土田 修
情報通信工学部長	小森 政嗣	入試部長	中田 亮生
医療健康科学部長	赤滝 久美	入試部副部長	中井 聖
総合情報学部長	大西 克彦	図書館長	松村 雅史
共通教育機構長	原田 融	メディアコミュニケーションセンター長	上善 恒雄
工学研究科長	川口 雅之	メディアコミュニケーションセンター副センター長	早坂 昇
医療福祉工学研究科長	新川 拓也	エレクトロニクス基礎研究所長	安江 常夫
総合情報学研究科長	登尾 啓史	メカトロニクス基礎研究所長	入部 正継
大学事務局長	寺西 正光	情報学研究所長	来海 暁
学事部長	岩村 真吾	先端マルチメディア合同研究所長	寺山 直哉
四條畷事務部長	渡邊 堅一	3D造形先端加工センター長	入部 正継
学務部長	柴垣 佳明	国際交流センター長	渡部 隆志
学務部副部長	溝井 浩	研究連携推進センター長	新川 拓也
学務部事務部長	不破 信勝	地域連携推進センター長	伊藤 義道
教育開発推進センター長	竹内 和広	ICT社会教育センター長代理	兼宗 進

高等学校

校長	福島 淳行
教頭	内田 悟
教頭	松原 健太郎
事務長	小谷 高秋
教務部長	内田 悟
生活指導部長	唐原 太
進路指導部長	岡村 穂高
入試部長	白石 新

法人部門

経営戦略室長	谷 嘉久
法人事務局長	千松 哲也
総務部長	早野 秀樹
財務部長	谷 嘉久
広報部長	千松 哲也

※2023年4月1日現在

硬式野球部 阪神大学野球連盟1部初昇格記念募金終了の御礼について

創部60年目にして阪神大学野球連盟1部へ初昇格したことを記念し、募金を実施いたしましたところ、多くの方々からの温かいご支援をいただき、ありがとうございました。
在学生のご父母、卒業生の皆さま、本学関係者の皆さまや一般篤志家の皆さま、ならびに、日頃お世話になっております法人、団体(後援会)など多くの皆さまから温かいご支援をいただくことができました。
ご協力を賜りました皆さまに厚く御礼を申し上げますとともに、募金結果についてご報告申し上げます。
これからも引き続き選手たちへの応援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

理事長 大石 利光

募金期間：2022年7月15日～2022年10月31日 | 募金額：664,000円



学園創立80周年記念事業募金芳名録 (敬称略・五十音順)

2019年10月1日より募集を開始いたしました学園創立80周年記念事業募金は、皆さまからの温かいご支援を受け、2022年9月30日をもって募集を終了いたしました。皆さまの深いご理解とご協力に感謝し、厚く御礼を申し上げます。
学園創立80周年記念事業募金へご寄付いただいた皆さまへ感謝の意を込め、ご芳名を掲載させていただきます。
ご芳名は、2022年9月1日から募集終了までにご寄付をいただきました方(個人・社団法人・団体)を掲載しました。
ご支援、誠にありがとうございました。

個人	安 弘	池田 直樹	池田 裕喜	奥田 尚史
	奥田 裕	北地 憲治	坂手 宏行	佐藤 達海
	澤居 比佐夫	下出 一	都倉 信樹	中村 通
	西端 修	平田 貴之	二石 記人	前川 泰之
	増田 英恵	水谷 元也	溝井 浩	南出 拓
	吉川 茂	吉村 春樹	渡邊 堅一	

社団法人 団体	一般社団法人 大阪電気通信大学 友電会 茨城支部 一般社団法人 大阪電気通信大学 友電会 神奈川支部
------------	---

一般・継続募金寄付者芳名録 (敬称略・五十音順)

一般・継続募金は、皆さまからの温かいご支援を受け、2022年9月1日から2023年3月31日までの寄付件数は136件、寄付総額は2,787,985円となりました。
皆さまの温かいご理解とご協力に感謝し、厚く御礼を申し上げます。
一般・継続募金へご寄付いただいた皆さまへ感謝の意を込め、ご芳名を掲載させていただきます。
ご芳名は、2022年9月1日から2023年3月31日までにご寄付をいただきました方(個人・法人)を掲載しました。
ご支援、誠にありがとうございました。

個人	浅島 浩太	東 尚子	石本 一平	茨木 陽光
	岩野 敬一	岩村 真吾	植田 一正	魚谷 安久
	宇野 正邦	海老原 聡	王 少鋒	上川 直紀
	川口 雅之	川崎 安貴子	北田 由博	木原 満
	倉地 宏幸	児玉 隆洋	小林 史弥	渋谷 澄
	谷 嘉久	寺西 正光	中田 亮生	中村 文俊
	新川 拓也	西木 毅	西端 修	林 秋光
	早野 秀樹	廣田 康人	深川 真之介	藤田 玄
	伏本 和人	不破 信勝	松浦 秀治	萬代 武史
	宮崎 智彦	矢ノ根 かおり	山下 文裕	山田 千鶴子
	夕永 智子	吉川 茂	渡邊 郁	

法人	株式会社インターネットイニシアティブ 株式会社ノダRFテクノロジーズ 株式会社ハーテック
----	--

・お名前の公表を希望されない方につきましては掲載しておりません。
・お気づきの点がございましたら、恐れ入りますが、問い合わせ先までご連絡いただけますよう、お願いいたします。

寄付金に関するお問い合わせ先

法人事務局 募金推進室 | Tel.072-824-1131(代) Fax.072-824-1141 E-mail bokin@osakac.ac.jp

研究室紹介サイト

WHO'S LAB

オープンのお知らせ



WHO'S LABは、本学教員の研究活動を紹介する専用サイトです。各研究室の研究テーマをわかりやすく伝えるべく、今後続々ページを公開していきます。WHO'S LABを、どうぞお楽しみに!



気になるあの人に聴く!

#04

「ヒト・コト」コラム



寝屋川キャンパス広場コンペティション

新しい円形広場を通じて、人と人がつながる新しい体験を生み出す

2021年に開催された広場コンペティションで、最優秀賞を受賞したチームの案をベースに設計した広場が2023年8月に完成予定です。この度、受賞チームの3人の学生に、広場にかける思いや、コンペティションを通して学んだことを語っていただきました。

高橋: このコンペティションで学べたのは、“一本の線の大切さ”です。実際に自分たちの設計が形になるからこそ、この空間で、人と人のどのようなつながりが生まれていくのかを考える必要があります。図面に描いた線ひとつで、工事の費用や、空間の心地よさが変わっていく。そのことを深く考えさせられました。

武田: 工学部 建築学科*の1期生として大学でみんなの居場所をつくりたいという思いがあり、コンペティションに参加しました。もともとJ号館の近くに円形広場や中庭ステージがあったのですが、私たちが1年次の時に寝屋川キャンパスリニューアル工事の関係でなくなってしまいました。そこから、過去のものを引き継ぎ、蘇らせたいと考え、ステージを中心とした円形広場を提案しました。

松本: 円形広場の配置場所も大切にしたいポイントです。OECUIノベーションスクエアやJ号館、食堂ラウンジの視点の抜けが交わる場所に設置することで、施設と広場のつながりを意識しました。

広場は、今後入学してくる後輩たちへの素晴らしい贈り物となるのではないのでしょうか。この広場を通して、3人の思いである“人と人がつながり、新しい出会いや体験が生まれる”ことを楽しみにしています。

*2024年より建築・デザイン学部 建築・デザイン学科へ改組予定。名称および計画内容は変更になる場合があります。



大学院 工学研究科 工学専攻 建築学コース 2年

高橋 侖里さん(写真左) | TAKAHASHI Yuri

武田 剛さん(写真中心) | TAKEDA Tsuyoshi

松本 康平さん(写真右) | MATSUMOTO Kohei

PROFILE

学内外を問わず、様々なコンペティションで受賞経験を持つ3人。現在は、大学院 工学研究科 工学専攻 建築学コースに在籍し、それぞれが理想の設計者をめざして、日々挑戦を重ねています。

可能性に挑み、未来を創り出す4年間

OPEN CAMPUS 2023

今年は規模を拡大して開催!
大阪電気通信大学で未来を体感してください

スケジュール

6/4	10:00-14:00	8/19	I部 10:00-14:00
			II部 14:30-18:00
7/16	I部 10:00-14:00	9/10	I部 9:30-13:00
	II部 14:30-18:00		II部 14:30-18:00

主なプログラム

- 大学紹介 & 学科/専攻紹介
- 入試説明会 & AO入試説明会
- キャンパスツアー in 寝屋川・四條畷
- 体験授業
- 在学生によるトークLIVE
- 入試問題解説
- 個別相談

オープンキャンパス
特設サイトはこちら

